

意見書

教 科
理科

種 目
理科

発 行 者
東京書籍

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・問題発見、？（課題）、構想、実験、！（結論）などの言葉や記号を使い、課題把握、探究、解決までの流れが非常に分かりやすい。 ・観察、実験のページにおいて、「結果」の次に「結果の見方」、「考察のポイント」、「分析解釈」を位置付けて考察を促している。 ・観察、実験のページにおいて、「結果」の次に「結果の見方」、「考察のポイント」、「分析 解釈」を位置付けて考察を促している。 ・？（課題）に対する！（結論）を自分の考えとしてまとめさせるように、使用するキーワードを示し、まとめる力を助長している。
	(2)	・他教科等での学習内容と関連のある所は「技術・家庭で学ぶこと」などとし、教科の枠をこえて学習がつながるようになっており、そのコンテンツ数も多い。 ・「社会につながる科学」「学びを生活や社会に広げよう」と題し、日常生活や社会との関連を取り上げ、学びが深まり有用性を実感できる。
	(3)	・「じっくり探究」の節を設定し、生徒どうしの対話の具体例や「理科の見方・考え方」を適宜示し、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるようになっている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・各自が立案した仮説や予想を基に、複数の実験方法から選択できる場面を設け、一人一人に応じた学習を可能にしている。また、探究の過程における対話例の掲載が非常に多く、協働的かつ主体的に学習する態度を育成できるようにしている。
	(2)	・「探究をふり返ろう」の活動を設定し、探究の過程の妥当性について考えられるようにしている。また、単元や章ごとに「Before After」を設定し、学ぶ意味や自分の成長を実感できる機会が特に多い。
	(3)	・学習内容ごとの QR コンテンツが特に充実しており、学習内容を補完し、思考力、判断力、表現力の育成や知識及び技能の定着を図れるようにしている。
3 印刷・製本等	(1)	・大きさは AB 判、軽量化された再生紙を使用し、重量は非常に軽減されている。また、ページ数も厚みも抑えられている。
	(2)	・単元ごとの学習内容の整理では、すべての漢字にふりがなが付されており、当該ページで学習を完結できる配慮がなされており、非常に丁寧である。
	(3)	・巻末には、理科室の決まり、器具の基礎操作、薬品の性質と取り扱いの注意、応急処置等が、見やすく整理されている。 ・本文中の？に対する自分の考えのまとめの例も端的に紹介されており、とても扱いやすい。

意見書

教 科
理科

種 目
理科

発 行 者
大日本図書

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・キャラクターの吹き出しや？（記号）、「問題を見つけよう」「計画を立てよう」といった表記を使い、生徒の思考に寄り添いながら、見通しをもって探究的に学習を進められるように配慮している。 ・観察、実験のページにおいて、「結果」の次に「結果から考えよう」で考察するポイントを位置付けて考察を促している。 ・単元末には、学習内容を振り返る「まとめ」と「単元末問題」を掲載し、基礎的・基本的な知識の定着を図っている。
	(2)	・「つながる」という表記で、学習内容に関連する他教科の学習内容を履修学年とともに紹介している。 ・「くらしの中の理科」として、実社会や実生活の事物・事象を様々な角度から捉えて考えられるように配慮している。
	(3)	・「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」のマークを設け、探究の過程に沿った学習を意欲的に進められるよう配慮している。 ・各単元末にある「探究活動」で、学習した単元に関連するテーマを紹介し、「理科の見方・考え方」を働かせて探究することで、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるようになっている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・つまづきやすい問題については「例題」を掲載して説明し、一人一人に応じた学習を促している。また、キャラクターが対話を促したり、会話の場면을例示したりする箇所が多く、探究的な学習を協働的に進められるようにしている。
	(2)	・単元末の探究の過程の中に「振り返ろう」が位置付いており、実験の目的や操作の意味などを考え説明できるようにしている。また、「まとめ」にチェック欄を設け、生徒が自己評価できるようにしている。
	(3)	・インターネットの利用、PC やタブレットなどの ICT 機器の活用を通して、情報の活用・処理能力が育つようにしている。
3 印刷・製本等	(1)	・大きさは B5 判、見開きでも生徒机上でのスペースはそれほど負担にならない。また、総ページ数は、サイズが小さい分、他者より多い。
	(2)	・重要語句は太字で強調されている。 ・B5 版の紙面に、図版と文字が見やすく配列表記されている。
	(3)	・巻末には、継続観察ノートやレポートの書き方、自由研究、科学館・博物館、理科の学習と算数・数学、学習のまとめ、ノーベル賞、科学のあゆみ等が整理されている。

意見書

教 科
理科

種 目
理科

発 行 者
学校図書

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・気づき、課題、仮説、計画、方法、結果、考察といった思考と授業の流れを言葉とともに矢印で示し、「何ができるようになるか」を意識した授業ができるようにしてある。 ・観察、実験のページにおいて、「結果」の次に「結果から考えよう」で考察するポイントを位置付けて考察を促している。
	(2)	・キャラクターの吹き出しや、「つながり・数学」などの箇所では、他教科との関連が紹介されている。 ・コラム「理路整然」や「なぜ理科を学ぶの？」では、理科の学習と日常生活や社会との関連を取り上げている。
	(3)	・「理路整然」と題し、主体的に学習を進める意義と方法や対話の重要性、探究の手法を活かす例などを詳しく示している。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・各頁の二次元コード先にあるチャットボットに質問すると、教科書の内容を用いて答えてくれるようになっており、個々の定着度に合わせた習得学習が進めやすい。また、学習探究の過程においてキャラクターの会話例を示し、生徒同士の対話を促している。
	(2)	・探究の過程に「ふり返り」を位置付け、探究の各過程が適切だったかを考えて改善する機会が多く、既習内容と結び付けて理解を深めたりしていけるようにしている。
	(3)	・単元や章の導入及び単元末問題以外の全てのページの上部に二次元コードを記載し、操作動画、資料動画、練習問題、科学ニュース等を確認できるようになっている。
3 印刷・製本等	(1)	・大きさは AB 判、見やすく分かりやすい紙面となっている。総重量はやや重くなっている。
	(2)	・文字の大きさ、文字間、行間のバランスがよく読みやすい。また、書体は、見出し、本文、重要語句など、目的に応じて区別されている。
	(3)	・巻末には、薬品の性質ととりあつかいの注意、応急処置、科学的探究の手法、レポートの書き方、SDGs、発展学習資料、計算問題、思考をさらに深める読解力強化問題等が掲載されている。

意見書

教 科
理科

種 目
理科

発 行 者
教育出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・疑問、課題、観察・実験、考察、結論といった言葉と記号を合わせたマークを使い、課題の解決に向けて、見通しをもって取り組むことができるようになっている。 ・観察、実験のページにおいて、「結果」の次に「実験（観察）結果から考えよう」で考察するポイントを位置付けて考察を促している。 ・すべての授業時間に対応した、「課題」と「結論」が提示され、知識の定着が促されている。
	(2)	・「ブリッジ算数」「ブリッジ国語」「ことば」などのマークを用いて、他教科の学習内容を取り上げている。 ・「学びをつなげよう」という場面を設けて、日常生活や社会との関連を図っている。
	(3)	・各探究の過程において、理科の見方・考え方を働かせる生徒の様子を、生徒キャラクターのイラストによって例示している。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・探究の過程の各場面に「考えよう」が設定されており、一人一人がまず自分の考えをもつよう促している。また、探究の過程の各場面に「話し合おう」が設定され、話し合いによって自分の考えをより妥当にするよう促している。
	(2)	・探究の過程に「探究を振り返ろう」を位置付け、考察したことが課題や仮説と対応しているかを検証できるようにしている。また、「学習前の私」「学習後の私」を設け、科学的な答えができるようになった自分の成長を認識できるようにしている。
	(3)	・ICT 活用の例が豊富である。「まなびリンク」を設け、これまでの学習のおさらい、参考リンク、メッセージ動画、Web 図鑑、原子のモデルカード等が確認できるようになっている。
3 印刷・製本等	(1)	・大きさは、AB 変形判で机の占有面積がやや大きくなる。また、重量もあり総ページ数も他者より多い。
	(2)	・第 1 学年には、13 ポイント、第 2, 3 学年には、12 ポイントの文字が使用され、文字間、行間も適切に設定されている。
	(3)	・巻末には、薬品の性質ととりあつかいの注意、応急処置、レポートの書き方、ノーベル賞、SDGs、探究の歴史、学年末総合問題、自由研究、校外施設の活用、理科で使う算数・数学等が掲載されている。

意見書

教 科
理科

種 目
理科

発 行 者
新興出版社啓林館

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・ まとめの文章は、色分けして表示され、分かりやすい言葉で表されている。また、「考えてみよう」「活用してみよう」など、思考・表現の活動場面が用意されており、科学的に探究できるようになっている。 ・ 観察、実験のページにおいて、「結果」の次に考察するポイントを示して考察を促している。
	(2)	・ 「理科でよく使う算数・数学」では、生徒が苦手とする定量的な扱いを補助するなど他教科の学習内容を取り上げている。 ・ 単元末の「ひろがる世界」では、日常生活や社会との関連を取り上げている。
	(3)	・ 「探Q実験」の節を設定し、生徒同士の対話例や書き込みのできるシートが教科書に用意されており、誰もが、主体的・対話的な学びが実現できるようになっている。
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・ 個の特性や興味に応じて学びが広がり深まるよう、日常や学習内容からの疑問を「探Qのたね」に位置付け、一人一人に応じた学習が位置づいている。また、「考えてみよう」や「発表してみよう」を設定し、他者との協働によって考えをより妥当にするよう促す機会が多い。
	(2)	・ 「探究のふり返り」を設定し、探究の各過程の妥当性や、残っている疑問、新たな課題について考えることができるようにしている。また、「学ぶ前にトライ」「学んだ後にリトライ」を設け、学習を自己評価して学びの深まりを実感できるような機会が多く設定されている。
	(3)	・ 二次元コードの横に表示された内容により、解説動画、実験動画、解説動画、スライドショー、ふり返りシートなどを選択して確認することができる。
3 印刷・製本等	(1)	・ 大きさはAB判、広げやすく、書きこみがしやすい製本となっているため、紙面の有効活用ができる。
	(2)	・ 1年生の文字サイズは、小学校理科6年と中学校2、3年の中間サイズに設定されており、小学校から中学校への移行に配慮してある。
	(3)	・ 巻末には、探究の流れ、教科書の使い方、SDGs、ICTの活用、学年末総合問題、中学校総合問題、自由研究、話し合い・発表の仕方、理科の学習と算数・数学等が掲載されている。